

亜細亜友之会外語学院

入学者の選考要項

本校では、日本語能力の確認だけでなく、母国を離れ留学するという状況をきちんと理解し、その環境に適応できる順応性をもっている人を対象に、母語でのコミュニケーションを重視した選抜を行う。

対面またはオンラインによる面接では、日本語と母語による問答を行い、必要に応じて保護者同伴の面接も実施する。入学の最終合否決定までは、次の3段階を経る。

- (1) 事前書類（本人申告）の審査
- (2) 面接審査（日本語能力および母語による問答）
- (3) 在留資格認定証明書交付申請に必要な全ての書類確認と申請手続き

これらの3段階を経て、最終的に入学を決定する。

面接試験では、客観性および公平性を保つため2名の担当者で行い、日本語能力判定と母語による8項目の評価に基づき、基準を満たした者を合格とする。

【一次審査】入学申込書（本人申告）書類の提出による審査

| | |
|---|--------------------------|
| 1 | 卒業事実（在学中の場合も含む） |
| 2 | 日本語学習状況（日本語能力各証明書取得者を含む） |
| 3 | 留学における経費支弁者の情報 |
| 4 | 希望進学先（わかる範囲内での学校名称など） |
| 5 | 将来の就職希望業種などの記載内容 |

【二次審査】一次書類審査通過者に対して、面接審査を実施する

面接はオンライン或いは現地において対面で行う。20～30分の面接時間を予定し、以下の質問テーマを中心に評価を行い、入学選考の合否を決定のうえ、合格者には最終確認を行う。

《日本語による面接項目（日本語レベル判定）》

| 質問テーマ | A1 レベル判定目安 | A2 レベル判定目安 |
|-----------|--|---|
| 1. 自己紹介 | ゆっくりとした簡単な質問であれば、単語や短いフレーズで答えることができる。自分の名前や出身地など、基本的な個人情報を伝えることができる。 | 簡単な質問に対して、短い文で答えることができる。自己紹介や出身地、学習歴について、いくつかの情報を付け加えて話すことができる。理由や目的を簡単な言葉で説明しようとする姿勢がある。日常的な表現や身近な話題について理解し、対応できる。簡単な接続詞（「～と」「～から」「～ので」など）を使って、複数の情報をつなげて話すことができる。 |
| 2. 趣味 | | |
| 3. 日本への興味 | | |
| 4. 家族構成 | | |

《母語による面接では、次の評価項目について質問を行い、評価方法を各項目4点、合計32点とする》

| | 評価項目 | | 評価項目 |
|---|---------|---|---------|
| 1 | 道徳意識 | 5 | 学習意欲 |
| 2 | 将来への計画性 | 6 | 周囲との協調性 |
| 3 | 勤勉真面目さ | 7 | 自主自立の精神 |
| 4 | 積極性 | 8 | 礼儀 |

=判定基準=

| 合計点 | 判定内容 |
|--------|-------------------------|
| 24点以上 | 合格 |
| 20～23点 | 再確認（追加面接または再面談を実施、最終決定） |
| 19点以下 | 不合格 |

=判定補足=

- (1) 「再確認」となった場合は、追加面談や経費支弁者確認等を実施し、最終判断を行う。
- (2) 面接官は、受験者の受け答えのみならず、面接時間の厳守、態度、表情、話し方などを総合的に観察し、礼儀・適応力を評価する。

【最終確認と在留資格認定証明書交付申請書類】

入学決定者は、在留資格認定証明書交付申請に定められた提出書類が、一次審査と相違なく申請が可能であることを最終確認し、学歴詐称、経費支弁虚偽申告など申告内容に明らかな相違がある場合、または必要書類が揃わない場合は「不合格」とする。

2026年4月1日施行

